

柔道整復演習Ⅲ		講義	非常勤講師 西川 晃子
科目カテゴリー	柔道整復師コースの専門選択科目	科目ナンバリング	12371401

1. 授業のねらい・概要

私たちが問題なく安全に日々を送ることができるのは何故だろうか。「キレイ」や「汚い」とは一体何か。公衆衛生を理解することにより答えは見えてくる。

本授業では解剖生理学を基礎とした上で健康の保持・増進をはかり、疾病を予防していくことを学ぶ。そして、医療従事者として必要な感染症や消毒、保健等の基本的知識を身につけ、地域社会において衛生的に施術を実施できるよう取り組んでいく。

2. 授業の進め方

授業では配布資料とスライドを活用する。

3. 授業計画

1. ガイダンス 健康の概念	9. 生活環境・食品衛生活動
2. 疾病予防と健康管理	10. 母子保健
3. 感染症の予防（感染症成立の条件、感染症の種類）	11. 学校保健
4. 感染症の予防（感染症の予防対策）	12. 産業保健
5. 消毒	13. 成人・高齢者保健
6. 環境衛生（環境の種類、環境問題、環境の把握・評価）	14. 地域保健と国際保健
7. 環境衛生（物理的・化学的・生物的環境要因）	15. 医療の倫理と安全の確保
8. 生活環境・食品衛生活動	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

事前に配布した資料に目を通し、わからない単語があれば事前に調べておくこと（およそ30分間）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

定期試験の正答と問題の要点を希望者に配布する。

6. 授業における学修の到達目標

「公衆衛生学」の必要性を確認する。

健康や地域保健等の理解を深める。

医療従事者としての基礎的な知識ならびに国家試験に対応した知識を身につける。

7. 成績評価の方法・基準

平常点（小テスト）（約30%程度）並びに定期試験の結果（約70%程度）より総合的に評価する。

8. テキスト・参考文献

（社）全国柔道整復学校協会 監修、『衛生学・公衆衛生学 改訂第6版』、南江堂、2023年
その他、授業内容に応じて資料を配布する。

9. 受講上の留意事項

授業開始5分前には着席しておくこと。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、接骨院における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。